

仙台の今、未来への責任！

■発行／仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和3年第2回定例会報告

■ご意見・ご要望がありましたら
お気軽にお寄せください。

今回の仙台市議会レポートは、令和3年第2回定例会の報告を致します。今定例会では、新型コロナウイルス対策費などを計上し、計163億985万円を増額する補正予算など議案8件、意見書案1件を可決いたしました。

主な補正予算は、新型コロナワクチン接種費132億1362万円などとなっており、意見書は新型コロナ対応を巡り、緊急事態宣言を政令市単位で出せるようにすることや、都道府県知事の権限や財源の政令市への移譲、地方創生臨時交付金の追加などを国に求めました。

今回のレポートは「会派 自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、令和3年度の泉区内の主な事業の一部を掲載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和3年第2回定例会
では…

●新型コロナウイルス
ワクチン接種費132億
1362万円を増額。

●困窮する女性への
生理用品1万個の無料
配布、相談体制拡充
費用1500万円を計
上。

令和3年第2回定例会 自由民主党代表質疑より (抜粋)

ワクチン接種、感染症対策について

質問 本市におけるワクチン接種の体制がすべて稼働し、市民に対する接種が加速的に進むことを大いに期待する。65歳以上の高齢者接種について、7月末完了に向けて進めているが、現時点での高齢者の接種状況、7月末時点での実績見込みについてどう認識しているのか。

答弁 大規模接種や集団接種の予約件数は約5万人分となっており、個別接種は6月末までの予約数が約13万人分となっている。少なくとも約18万人の方が7月末までに2回目の接種を終えられる見込みで、希望される市民お一人おひとりの接種が円滑に進められるよう取り組んでいく。

質問 64歳以下の方へは、高齢者の方々の接種がまさに山場を迎えているなかで、なかなか予約が取れないのではないかと危惧する。いつ頃から優先接種対象の方々、それ以外の方々の接種を開始できるとの見通しを持っているのか。

答弁 6月中は65歳以上の方々の接種を優先的に進めており、優先接種対象以外の方々については一定程度めどがついてから予約開始のお知らせをすることとなり、現時点では概ね8月中旬以降になると考えている。

質問 円滑な接種の推進には、正確かつ丁寧な情報提供が、ますます欠かせない。この点での取り組みについて伺う。

市政だよりや市ホームページはもとより、新聞・テレビ・ラジオなど、様々な媒体を用いた広報に努めている。加えて手続きなどをまとめた手引きを全世帯に配布したほか、各地域団体の協力をいただきながら、掲示板や回覧板等を活用したお知らせなどにも取り組んでいる。

質問 国は職域接種の対象を最低1000人規模としていることから、本市においても大手企業が準備を進めている。中小事業者からは、「ぜひ共同実施で職域接種に取り組みたい」という声が届いている。職域接種の推進についてどんな認識を持っているのか。

答弁 今後本格化する64歳以下の方々の接種を後押しする大変心強い取り組みである。制度利用を希望される企業等に対して本市としても相談に応じるなど可能な支援を行っていききたい。



質問 今後は、感染しやすく重症化しやすいことが指摘されている変異株に、ほぼ置き換わっている。これまで経験したことのない大きな波が襲ってくることを想定し、様々な対策を講じていく必要がある。今後の見通しについて伺う。また、このような厳しい事態を想定して、保健所の体制を強化すべきだが、準備状況は如何か。

答弁 職員の増員や患者移送体制の強化など業務の見直しを図るとともに、一日あたり陽性者数が過去最大の2倍程度となることを想定し、保健所等への応援職員を450名程度導入した。感染拡大に即応できる準備を進めており、なお一層の危機感を持って取り組んでいく。

PCR検査受診率を向上する取り組みについて

質問 高齢者施設と障害者施設の職員を対象とした定期的検査は意義のある取り組みだが、施設での申し込み率が約48%、職員数は約66%の申し込み率と聞く。本来からすればすべての職員が定期的検査を受けるようにすることが必要だ。申し込み率がこの程度にとどまっている要因についてどう認識しているのか伺う。

答弁 すでに施設内で独自の検査体制を整備していること、ワクチンの接種が一定程度進んでいることなどの回答だ。引き続き施設の検査の目的を理解いただけるよう、丁寧な勧奨に努め積極的な申し込みを促していく。

質問 飲食店従業員を対象としたPCR検査を5月末から始めた。検査が開始されてから半月ほど経過したが、現在の申し込み状況と検査の結果はどうなっているのか。

また、今後の周知強化に向けてどう取り組む考えか。

答弁 6月10日時点で、1,373件9,436人分の申し込みがあった。そのうち検査済は2,252人となっており陽性は2人だ。

今後月一回程度ホームページ等で公表していく予定だ。今後は次回検査についてメールで勧奨を行うなど、定期的かつ継続的に検査をいただけるよう努めていく。



地域経済の再生と事業者支援について

質問 感染症の影響が長期化することにより疲弊した地域経済の再生と事業者支援について聞く。

はじめに、時短要請に伴い支給してきた協力金は欠かせないもので、速やかな支給が重要だ。第1期からこれまでの協力金の支給の状況、その効果についてどう認識しているのか。

答弁 受付から概ね3週間で支給できるよう進めており、4月5日まで時短要請を行った第4期分までの支給がほぼ完了した。

実績としては昨年12月末からの第1期分から第5期延長分までを合わせ、延べ約12,000事業者に約87億円を支給した。

質問 時短要請や県・市独自の緊急事態宣言の影響は飲食店にとどまらず、多くの事業者に及んでおり、関連する事業者の事業継続のためにも支援は大変重要だ。

この支援金事業を行うとした意義、また、多くの事業者を利用いただくためにはしっかりとした周知も必要だ、如何か。

答弁 飲食店はもとより関連する事業者にもその影響が広く及んでおり、これら中小事業者の事業継続の下支えが必要との認識のもと、2回目の支援金の支給を行うこととした。多くの事業者の皆様に活用いただけるよう努めていく。

子供を産み育てやすい社会の実現について

質問 コロナ禍が長期化する中、社会環境の変化に伴い、子育て家庭の家計や養育環境に様々な影響が現れており、特にひとり親家庭においては、その影響が大きくなっている。今年度の新規事業としてアウトリーチ支援に取り組むこととしているが、改めてその目的と期待する効果について伺う。また困難を抱えた家庭への支援のあり方について所見を伺う。

答弁 困難を抱える子育て家庭には、様々な事情から支援機関につなぐににくい状況にある方も多い。こうした家庭を早期に発見し適切な支援につなげていくためにアウトリーチ支援が重要と考えている。夏休みなどに虐待リスクが高いと把握している要保護児童の小中学生のいる家庭を中心に、週に一回程度訪問し、食品提供と生活相談支援を行うなどの事業を進めている。



質問 本市でも出生数の減少傾向に歯止めがかかっていない。これまでの子育て支援の総括を伺うとともに、国の動きも踏まえつつ、子供を産み育てやすい街の実現に向け、今後、子ども・子育て支援にどう取り組んでいく考えなのか伺う。

答弁 本市では「すこやか子育てプラン2020」に基づき、各般の施策を進めている。コロナ禍であきらかになった新たなニーズを踏まえながら、引き続き子供を産み育てやすい街の実現を最優先の政策課題と位置付け、さらなる子育て環境の充実に積極的に取り組んでいく。

質問 本市には一年を通じて市民が楽しめる街の賑わいが感じられる様々なイベントがあるが、昨年来、ほとんどが中止や縮小での開催を余儀なくされている。引き続きイベント開催においても感染を拡大させない方策を確立し講じていくことが重要だ。「屋外イベント開催支援事業」をイベント関連事業者への支援という趣旨だけに留めるのではなく、「ウィズコロナ」の下でのイベント開催へつなげていく必要がある。屋外や屋内でのイベント開催の支援と、開催するための環境づくりについての市長の考えを伺う。

答弁 ウィズコロナのもとで誰もが安心して参加できるイベントの定着を図ることが重要で、イベントにおける感染症対策セミナーを開催するほか、本市の市有施設における感染対策も含め、安全安心のイベントが開催できる環境作りを進め、一日も早く街のにぎわいを取り戻し、地域経済の回復につなげていきたい。

イベント関連支援、東京オリンピック・パラリンピックについて

質問 本市はイタリアのホストタウンとして計5競技、約130名の事前キャンプを受け入れる予定だ。市内の感染拡大や世界へのウィルス拡散につながる事は絶対にあってはならず、住民及び合宿を行う選手双方の安全確保が重要だ。

事前キャンプを受け入れるにあたり、市民及び選手双方の安全のためどんな感染症対策を講じる考えなのか伺う。

またイタリア選手団がオリンピック・パラリンピックで最高のパフォーマンスを発揮できるように、力を尽くすことがホストタウンである本市の責務だ



が認識を伺う。

答弁 期間中は市民の皆様との接触が生じないように、選手団の移動は宿泊施設と練習施設の間のみ限定し、専用車両を使用するとともに毎日の健康管理やPCR検査、行動管理を行うこととなっている。選手が本番直前の練習に打ち込むことのできる環境を整え、大会で存分に力を発揮していただけるよう、ホストタウンとしての役割を果たしていきたい。

質問 隣接する利府町において、サッカー競技が10試合開催される。これらの方々は市内の宿泊施設に滞在することが想定され、本市への影響も大きく市民が懸念を抱いている。選手団・大会関係者・国内観客に対して、誰が責任を持ってどんな感染症対策がなされるのか、また本市はどんな点に懸念を持ち、大会組織委員会とどんな協議を行っているのか伺う。

答弁 大会組織委員会が受け入れ責任者となり、健康管理や行動管理、PCR検査、専用車両での移動など事前キャンプと同等の感染症対策が実施される。

市民の皆様のお安全・お安心を守る立場から万全の感染対策が講じられるよう、大会組織委員会に求めていくとともに、宮城県や保健医療機関等と連携しながら適切に対応していきたい。

マイナンバーカードについて

質問 令和4年度末までに全国民がカードを取得する目標を設定している。本市

のカード申請・交付の状況、他の大都市との比較で見た本市の位置、今後の申請の見通しは如何か。また今後、申請・交付の促進に向け強力な取り組みを進めるべきだが、どう取り組んでいくつもりなのか伺う。

答弁 申請率が本市人口の49.4%、交付率が34.2%となっている。政令指定都市で比較すると申請率が6位、交付率は10位となっている。

今後カードの利便性等をわかりやすく広報するとともに「申請時来庁方式」や「出張申請受付方式」に取り組むなど、マイナンバーカードの一層の普及に向けたさらなる体制強化を図っていきたい。



本市の成長戦略及び行財政改革について

質問 令和2年度市税収入の決算見込みはどんな状況にあるのか。元に戻る見込みと考えているのか、ダメージが広がっていて厳しい状況が続くと考えているのか。

答弁 令和2年度の市税収入決算は、2,190億円程度と見込んでおり、令和元年度決算と比較し30億円の減収となる。令和2年度と比べ100億円ほど減少の約2,060億円を見込んでおり、市税収入の回復には一定の時間を要する認識だ。

質問 歳出の見直しも新たな視点が求められる。行革待ったなしという状況で、これまでと同じという事はない。市長は行財政改革、市役所経営プランの見直し・改定にあたり、どんな方針のもとに取り組みを進めていく考えなのか伺う。

答弁 これまで以上に踏み込んだ行財政改

革が必要だ。現行プランのすべてを精査し、既存事業であっても改めてあり方を見直すよう指示をした。限られた経営資源を最大限に活用できるよう取り組んでいく。

市長の自己評価とリーダー像について

質問 今定例会が終わると次の4年間の本市政の舵取り役を選ぶ市長選挙となる。市長はこの4年を振り返りどう総括するのか、積み残した課題は何だと考えるのか伺う。またコロナ禍を踏まえ、改めて市長が考えるリーダー像とはどんなものか。

答弁 本市の教育現場で発生した痛ましい事案を二度と繰り返すことがないという強い決意のもとで、いじめ防止条例の制定や、35人以下学級の拡充など、未来を担う子供たちの命を守り、健やかな育ちを支える環境整備に全力を尽くしてきた。

仙台市政は、あの東日本大震災から10年にわたる復興を踏まえ、21世紀半ばを見据えた新たなチャレンジを始めなくてはならない。コロナ禍での、市民の皆様の命と健康、そして地域経済をしっかりと守るという最優先課題への対応はもとより、基本計画に掲げる「挑戦を続ける、新たな杜の都」の実現に向けた未来のまちづくりにおいて、リーダーシップを発揮するとともに、109万市民の皆様と共に魅力あふれる仙台を次世代に引き継いでいくため、力を尽くす覚悟だ。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

料金受取人払郵便



差し出し有効期間

2022年
4月30日まで

切手不要

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる 行

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



| | | |
|---------------|---|------|
| お名前 | フリガナ | 生年月日 |
| | | |
| 1住所 | □□□□□□□□ | |
| 電話番号 | () | ご職業 |
| | | |
| 1意見 | お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入をお願いします。 | |
| | | |
| | | |
| な必地と要元あな地性ほのに | | |

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。

令和3年度 泉区内主要事業(抜粋)

- 区役所庁舎建事業
- 七北田中学校の校舎増改築工
- 将監地域複合施設建設
- 南中山市民センター大規模修繕
- 高森市民センター大規模修繕
- 虹の丘コミュニティ・センター大規模修繕
- ミュニティ・センター大規模修繕設計 (鶴が丘、住吉台)
- 特別養護老人ホーム建設費補助 (七北田中学校区)
- 道路整備
泉塩釜線、長命ヶ丘幹線3号線、加茂幹線1号線、桂島上野線等の整備
- 道路施設等長寿命化修繕
泉ヶ岳スノーシェルターの改修工事
- 橋りょう整備
(仮称)新馬橋の整備や、泉中央駅ペDESTリアンデッキの補修工事等
- 公園整備
七北田公園等の整備 など